

日本共産党の藤木くにあきでございます。私は、財政難のもとでも、市民のくらしと、福祉、教育を優先させる立場から、市長、ならびに教育長に4つの項目について質問いたします。

質問の第一は、第2子、第3子の保育料の軽減についてです。

私は、昨年の9月議会でもこの問題を提起しましたが、少子化のもと、子育て世代の負担を軽減するため、兄弟姉妹が同時に入所していなくても、第2子、第3子の保育料の軽減に道を開くべきだと考えます。

市長は、昨年の9月議会で、兄弟姉妹が同時に入所していない場合で、仮に、第2子の保育料を4分の1に、第3子の保育料を2分の1に減額した場合、それに必要な財源は、4千7百万円余りだと、答弁されました。

ということは、07年度決算による経常一般財源が、約190億円であり、その0.25%を充てれば、実現可能だということを示しています。300万円の収入の人に例えるなら、年間7500円節約すれば実現できるというもので、決して不可能なことではありません。

市長は、この問題について、現在、どのようにお考えか、改めて、明確な答弁を、求めるも

のです。

また、県内市の第2子、第3子の保育料の軽減の状況はどうなっているのか、また、県内市の保育所運営費に占める保育料の割合はどうなっているのか、併せて答弁を求めるものです。

質問の第二は、庄原市総合サービス株式会社等の労働者の賃金改善についてです。

庄原市総合サービス株式会社は、庄原市が全額出資した会社であり、その他の株式会社、社会福祉法人も、公設の保育所等の管理、運営を、市の指定によっておこなっているものであり、その労働者の賃金を、その人の年齢、他の職場での経験年数などを加味して決定できるような指定管理料にし、その改善を、市が指定している株式会社、社会福祉法人に求めるべきではないでしょうか。

合併前に設立された、庄原市総合サービス株式会社について言うならば、市長は、年齢、経験年数に関係なく、保育所の保育士なら月16万円余り、調理員なら月14万円余りで採用すると説明してこられました。

その後、「定期昇給もしている」「市の保育士、調理員の給料と格差があるとするなら改善する」などと答弁しておられますが、本当に改善されているのでしょうか。

庄原市総合サービス株式会社の、短大新卒採用の保育士の初任給はいくらなのか、経験年数5年の保育士の場合、経験年数10年の保育士の場合の基本賃金はいくらになるのか明確な答弁

を求めるものです。

また、その他の株式会社、社会福祉法人が市の指定を受けて管理、運営している公設の保育所の場合には、それぞれいくらになっているのか併せて明確な答弁を求めるものです。

質問の第三は、イノシシ駆除の徹底についてです。

昨年12月議会でも指摘したとおり、私は、イノシシ駆除に有効な箱わな、捕獲柵を支所ごとに満遍なく設置するよう、もっと増やすべきだと考えます。

また、捕獲できやすい猟期にも自衛駆除の箱わな、捕獲柵を使用できる手立てを講じるべきだと考えますが、市長はどのようにお考えでしょうか。明確な答弁を求めるものです。

また、現在、支所ごとの箱わな、捕獲柵の設置数はどうなっているのか併せて答弁を求めるものです。

質問の第四は、庄原中学校の建替えについてです。

私は、合併前から学校の耐震診断の実施とその結果に基づき、庄原中学校等の建替えを繰り返し求めてまいりました。

幸い、10年度から庄原中学校の建設に着手したいとのことですが、すでに、欧米では少人数教育が趨勢となっており、新築にあたっては、それに対応できる教室数を確保すべきだと考え

ますが、市長、ならびに教育長はどのようにお考えでしょうか。また、食教育のため、1学年ぐらいが利用できるランチルームを設けるべきだと考えますが、どのようにお考えでしょうか。市長、ならびに教育長の明確な答弁を求め、私の質問といたします。